



一般社団法人

# ロゴス腹話術研究会

2023年12月20日

会報  
第25号

## 説教 光の子として生きる（前編）

春風つばめ

あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。

（エフェソの信徒への手紙5章8節）



私は、春風赤とんぼさんと一緒に、2001年天城山荘で初心者研修を受けました。ですから、赤とんぼさんとはロゴス腹話術の同期生です。あれから20年余りの歳月が流れ、赤とんぼさんのご活躍ぶりは、皆さんご承知のとおりですが、私は、まったく活躍できておりません。

なぜ、こう差がついてしまったのでしょうか。それは、私が光の子として生きていなかったからです。聖書に「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい」と書かれています。牧師だからとか、洗礼を受けてクリスチャンになっているから、光の子として歩んでいるかと言えば、決して、そんなことはありません。少しぐらいは、光の子として歩んでいる時があったかも知れませんが、大抵、闇の子として歩んでいるのが、多くの牧師でありクリスチャンではないかと思います。

そこで、これから腹話術でどんな失敗をしたか、その原因となった光の子として生きていなかったということは、どういうことなのかをお話しさせていただきます。腹話術のご奉仕には光の子として行ってほしいと思います。

### ●腹話術での失敗

2001年当時、私が牧師をしていました教会には幼稚園があり、園児に聖書のお話をしなければなりませんでしたが、子どもへのお話は園の先生の方がずっと上手でした。子ども達は先生のお話は聞いてくれますが、私の話の時は、ぽかあ～んとした顔をしていました。そんな経験から何とか子どもたちに聖書のお話を楽しく聞いてもらいたいと思い、春風イチロー師匠にお願いしてロゴス腹話術研究会に入会させていただきました。

はじめてお人形と立った時、子どもたちは大喜びして私のお話を聞いてくれるようになりました。そして、毎回、お人形と一緒に園児たちや保護者の方々の前に立つたびに、皆さんよく笑ってくださり、楽しそうに話を聞いてくれるようになりました。いつの間にか、お人形ケンちゃんは、子どもたちの人気者になっていました。やがて、老人ホームでも腹話術を楽しんでいただけたら、教会の人た

ちの集まりでも、腹話術を喜んでもらえるような機会をいただくことができました。

もっと腹話術の力をスキルアップしたいと願い、ロゴス腹話術を退会し、友人と一緒に毎年アメリカオハイオ州で開催されるヴェイント・ヘブン腹話術世界大会に参加しました。唇を動かさず“newspaper”と発音する腹話術師に出会って、ぜひ、どうしたら唇を動かさない破裂音が出せるのか、その秘密を伝授してもらい有頂天になって帰国しました。

しかし、その結果、どうなったかと言いますと、腹話術をする機会が徐々に減っていき、どこからもオファーが来なくなりました。ある時、声楽家の方と一緒に教会に奉仕に来てくださいとオファーが来ましたが、その声楽家の方が私と一緒に奉仕するのはNGと先方の教会に言われたので、結局それはダメになりました。

## ●心の動き（図）

さて、では、なぜこういう結果になってしまったのでしょうか。その後心についていろいろ勉強してきて、心の動きは2つしかないという考え方を知りました。心とはエネルギーであり、引力（引き寄せる）と斥力（しりぞける）の動きしかありません。

図の縦軸で示しているのは、上に向かう引き寄せようとする心の動きの「快」と下に向かうしりぞけようとする「苦」です。私たちの心は、楽しい、うれしい、得をする、つまり「快」を引き寄せようとし、反対に苦しい、辛い、悲しい、損をするの「苦」はしりぞけようとし、一方横軸は、そのエネルギーの強さを示しています。

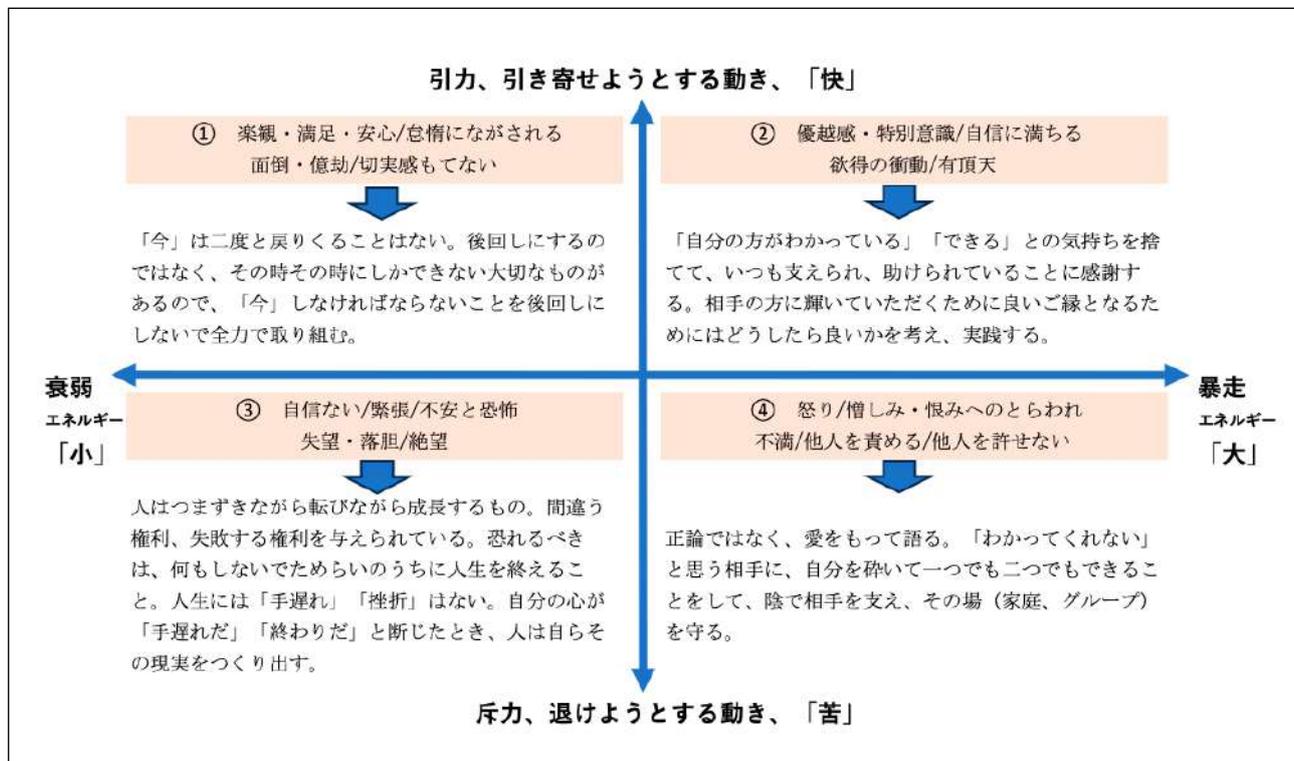


図 心の動き

腹話術を習い始めた頃の私の心は「優越感・特別意識を抱く」の右上②の状態になっていました。お人形とお話ができる人は、教会には誰もいません。むしろ腹話術を教えるのが欲しいと求められることもあり、「俺は、すごい人間」と思い上がっていました。腹話術をすれば、たくさんの子供が喜んでくれるので、「俺はやれば出来る」と自信に満ち溢れていました。そして、もっと上手になって周りの人からほめてもらいたいとの「欲得の衝動」にもつき動かされ、天狗になっている時期がありました。

私たちは、楽しい、うれしいとの「快」はあっても、心のエネルギーは弱いときがあります。それは左上①の領域で「楽観・満足・安心」、「怠惰に流されている」、「面倒・億劫」、またやらなきゃいけないと分かっているのに「切実感が持てない」ときです。

また心のエネルギーが衰弱している「自信がない」「失望・落胆」「絶望」のときがあり、左下③の領域です。

反対に、「苦」でありつつ心のエネルギーが大きく暴走して、しりぞけようとする右下④の領域のときがあります。苦痛に感じることに「怒る」「憎しみ・恨み」「不満」「他人を責めたり許せない」で、逃げようとしています。

このように心の動きをエネルギーとして捉え、図の中でどうなっているんだろうかと当てはめてみる訓練すると、自分の心の状態がわかってくるようになります。

## ●闇の心

私の失敗談に戻りますと、そもそも腹話術の実力がないにも関わらず、「自分は上手な腹話術師なんだ」と勘違いし、自己流で腹話術をやっても長続きするはずがありません。やがて、周りから孤立し、どこからもオファーが来なくなるのは時間の問題でした。高慢な自信家の「闇の心」では、挫折は当然であったということです。闇の心、つまり、闇の子として生きていては、たとえしばらくの間はうまくいってもやがて反感を買ったり、どこからも声がかからなくなってしまふのが闇の山です。この心の状態で腹話術をしてもうまくいきません。

自信をもって腹話術をすることは大切だと言われる方もあるかも知れません。しかし、人間は誰でも周りの人から支えられ、助けられてはじめて生きていけるわけで、それを忘れて「俺はやれば出来る」とおごり高ぶった心で奉仕に出かけ、相手にうわべは感謝されても、腹の中では「嫌な人」と思われていると思います。

ですから、いつも自分の心を点検する習慣を身に付けて、自分の心は、今、どうなっているか、例えば「優越感・特別意識」を抱いて奉仕しようとしている自分の闇の心に気がついたら、「光の心」に転換しなければ、光の子としての腹話術の奉仕はできないということになります。

次号では「4つの心の状態から光の心へ」のお話をします。  
(日本基督教団金沢八景教会牧師 木戸定)

2023年度

# 秋季 技術認定・研修会



2023年11月23日、紅葉が美しいグリーンパレス春日井にて秋季技術認定・研修会が行われました。楽しい腹話術演技を見て、みんなでお人形と一緒に発声練習し、とんぼ先生の「楽しい教え方」の講義で実際の指導の仕方学ぶことができました。また台本研修は興味深いものでしたが、紙面の都合で次号にまわします。学びの多い会でしたので、今回ご都合のつかなかった方も、ぜひ次の機会にご参加ください。

## 【プログラム】

■開会礼拝／春風つばめ

■技術認定会／技術認定委員長 春風とんぼ

■腹話術演技

瀧田ヒサエ、シスター <sup>こながや</sup>小長谷壽子、春風赤とんぼ

■研修

発声練習

春風たみ子、春風すみれ

台本研修 「交通安全123」

岡谷ますみ、神谷のり子、  
春風のんち、春風テッテル

■講演

「ロゴスの腹話術の楽しい学び方・教え方」

パート2：楽しい教え方

春風とんぼ

## 腹話術演技

今回、個性的な3名の方が演技を披露してくれました。

腹話術の雰囲気わかる動画がQRコードで視聴できますので、ご利用ください。

コメント 春風とんぼ



### 「七匹の子やぎ」

瀧田ヒサエ  
岩手県

遠方より来られ、よくぞ頑張ってくださいありがとうございます。堂々と立派な演技。欲をいえば「左」へも視線をサービスしてくださいれば満点。



### 「ザアカイのユーターン」

シスター <sup>こながや</sup>小長谷壽子  
名古屋市長

厳しい練習、環境の中、訓練によく耐え、演技の工夫をして当日を迎えた。メリハリのきいた演技がゆるされれば最良。



### 「地獄と極楽の観光案内」

春風赤とんぼ  
豊田市

さすがベテラン。タイトルから面白い。演技はもっと大胆でよい。中盤以降、人形との対面が多かった。要注意。



基本練習

春風すみれさんと一緒に、参加者皆がお人形さんと発声練習をしました。発声と同時に指定された通りにお人形を動かし、より実践的な発声練習となっています。みなさんもQRコードから動画を立ち上げてご一緒にどうぞ。

とても大事なことは、「胸音」術者が大きな口を開けて発声し、「頭音」人形がしゃべる時は、にっこりチーズで、しっかり口を固定して声帯を動かすことです。これを常に意識しながら行います。



×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	基本練習
ユ	ゆ	フ	ふ	ヌ	ぬ	ツ	つ	ス	す	ク	く	ウ	う			
ヨ	よ	ホ	ほ	ノ	の	ト	と	ソ	そ	コ	こ	オ	お			
ヤ	や	ハ	は	ナ	な	タ	た	サ	さ	カ	か	ア	あ			
エ	え	ヘ	へ	ネ	ね	テ	て	セ	せ	ケ	け	エ	え			
イ	い	ヒ	ひ	ニ	に	チ	ち	シ	し	キ	き	イ	い			
																注意事項
																人形操作

すみれの基本稽古

(『腹話術のすべて』より)

腹話術の魅力は暖かい笑顔、はずむ明るい声、優しい眼差し（通い）です。腹話術の不思議さは口が動かない楽しい雰囲気です。基本発声と人形操作を忠実にすればできます。春風とんぼ

秋季研修会の感想から

つばめ先生のお話：輝いている自分を目指していたが、周りを輝かせる人になることが光の子と知った。上達は継続あるのみ、日々の練習。初心に立ち返り感謝。／腹話術演技：楽しく見せていただきよかった。現代、過去、未来などいろんなことが入り、笑いがとれて参考になった。／とんぼ先生の講演：素人でもできる腹話術の基本を教えていただき、再確認した。／「180度全体を見る」「9パタ」を何度も指導してくださったが、やはり基本だ。

## 講演

### ロゴスの腹話術の 楽しい学び方・教え方 パート2：楽しい学び方



#### 春風とんぼ

これまでステップ1「なにがなんでも習得して欲しい」の笑顔（温かいほほえみ）、発声（大きな口、頭音はにっこりチーズ、腹式呼吸）などを学びましたが、さらに今回は「9パタ」についてです。術者と人形と観客との「通い」、視界は180度キッチリと！が強調されました。比較的経験の浅い参加者に前に出て演技してもらいながら、それぞれへの指導を見せていただきました。

「○ケンちゃん ×ナアニ ○あのねえ ×ウン」

9パタの時の術者と人形の顔の向きをどう変えていくか。簡単なようで、実際にやると案外難しいです。目線や顔の向きを丁寧に確認していきます。何度かやってみると術者は疲れます。休んでいる間、先生の豊富な腹話術のご経験をうかがいました。

#### 瀧田ヒサエ

4級のわたしをプログラムの演技の仲間に入れていただき本当に有り難うございました。実は、終活の気持ちで"最初で最後"の参加の決意で臨んでました。が、会場の雰囲気がとても暖かく和やかだったので、いつの間にか重くなった背中をやさしく押されて本気になってトレーニングをしてました。熱のこもったとんぼ先生のご指導もあり、「70歳の学び」は基本の大切さでした。芸は盗むものとありますから皆様との交流も貴重な時間でした。間違っていた間のトレーニングの取り組み(基本)そしていちばん大事でまだまだ不足な台本づくりにもチャレンジしたいので終活は取り消しです(笑)。皆様から沢山の元気と笑顔のパワーをいただきました。そうそう笑いの声も大事でしたね。また元気にお会いしたいです。



## 技術認定会

### 3級合格 上野楓さん



ウータンとの練習のおかげで、ここまでできました。基礎を知ってやってみると、人形のはずのケンちゃんも生きてるように見えるんですね。ケンちゃんも隣で応援してくれていたのが、心強かったです。

春風ウータンさんのコメント：

楓さんは家でもすごく練習に励んでいて、指摘されたことは翌日すぐ修正して演技しています。若いし努力家の期待の人です。



## 春風ひすいさんの「初歩の腹話術 人形とおはなししよう」

2023年6月6日に静岡市駿機都市山村交流センター「安倍ごころ」で行われました。今回は、少し遠距離にある里山にも腹話術を広げたいとのひすいさんの思いから企画され、靴下人形は参加者の方たちが工夫して作りました。アイデア豊富で面白い人形たちが出来上がりました。

### (2023年7月静岡新聞より) 腹話術の初歩を学ぶ

腹話術の初歩を学ぶ市民講座の発表会が4日、静岡市葵区の市駿機都市山村交流センター「安倍ごころ」で開かれた。

講座は6月6、20両日も含めて計3回行われ、市内から50代以上の9人が参加。腹話術師から声出しの基礎などを学んだ。最終回のこの日は手作りの人形を手に、一人ずつ実演。「人形の動きはできるだけ大きく」など上手に見せるコツを意識し、自分のアイデアが詰まった掛け合いを披露した。

講師を務めた同区の小泉啓子さんは「腹話術は年齢を問わず楽しめる上、おなかを動かすので健康にもいい」と魅力を語り、参加者のさらなる上達を願った。

葵区で市民講座発表会



講座で学んだ成果を披露する参加者＝静岡市葵区の市駿機都市山村交流センター「安倍ごころ」

## 三浦こうじさんのサマースクール出演

2023年7月26日、小学校のサマースクールで三浦こうじさんがブタさんと腹話術を演じました。三浦さんの感想です。「久しぶりの小学生。ブタさんとの会話で子どもたちが喜んでくれました。術者が詐欺師の役なので、そのままのキャラで楽しく出来ました。老人向けの啓発用の台本でしたので、小学生向けの工夫が必要かなとも思いました。子どもたちからパワーを一杯いただきました。」同行した春風イチゴさんは、「お年寄り向けでも十分子どもたちには受けていて素敵でした〜🍓」とのことです。小学生たちは集中して腹話術を見て、とても楽しそうです。



## ■ 新聞記事

### とよたみよし ボームニュース

2023年9月22日



腹話術で特殊詐欺を説明する宇野さんとけんちゃん

「一人に話を聞かせるには、まず笑いから入ることが大事。難しい事でも聞いてもらえるところ、腹話術の良さです」と話します。

講話会には伊保原さくら会は伊保原さくら会が満了した様子。14人が参加しました。次に豊田警察署生活安全課の神田郁哉巡査長から、特殊詐欺の被害事例を紹介。喜状況や手口と対策に相棒の「けんちゃん」について説明がありました。このコミカルなやりとりに参加者からは笑い声や相談できる相手などが、詐欺の手口の説明を持つことが大事で、入ると皆真剣な表情です。ちょっとしたことで耳を傾けました。参加者でも遠慮なく警察に相対話者「分かりやすく話してください」と呼び掛けました。

腹話術師の「春風赤とんぼ」こと宇野政博さんは、高齢者への特珠詐欺被害を減らそうと高齢者クラブ員として話をしながら、子どもが興味を持つよう行っています。9月4日に伊保原区民会館で警察と協力し講話

## 腹話術で特殊詐欺防止を啓発 春風赤とんぼさんが伊保原さくら会に講話

朝だー！ パート2

愛知県 春風とんぼ (加藤昭)

おはようございます。

笑顔づくり できました。

弾む声、なんとかできました

優しいまなざし、一回、二回、三回

鏡をのぞいて見ますと

一寸……一寸、昨日のことを

ひきずって 固い 固いです

今日はデーです

三つの約束

笑顔、弾む声、優しい目差し

たっぷりプレゼントして

又 こんどねとお別れさせて下さい

主よ、ありがとうございます。

『信徒の友』詩入選 令和6年1月号

## ■ 2023年度 年会費 (6,000円)、寄付のお願い

【年会費・寄付金振込先】(名義は、「一般社団法人ロゴス腹話術研究会」です)

ゆうちょ銀行：振替口座番号 00240-2-103127

※お願い：通信欄には、お手数ですが、振り込みの内訳(2023年度年会費、寄付)をご記載ください。

### 〈編集後記〉

秋季研修会は色々新しい取り組みもあり、とても充実した会でした。台本研修の詳細については、残念ながら次号となりますが、半年以上前から準備し、とんぼ先生のコメントもいただき、台本の完成度を高めていくプロセスの一端を垣間見る思いでした。また交流会でご披露いただいたボランティア活動導入時のお人形と一緒の歌や振り付けも、グループ独自の楽しいもので、見ているお子さんたち(もちろん大人も)、さぞワクワクと気分が盛り上がると想像いたしました。

早いものでクリスマス、年末を迎えます。今年一年お世話になりました。みなさまのご健康と今後のご活躍をお祈りしています。



(絵手紙：春風赤とんぼ)

発行：  
一般社団法人  
ロゴス腹話術研究会 事務局

〒211-0005  
神奈川県川崎市中原区新丸子町734-1  
アベニオ新丸子ビル402号  
TEL：044-733-6650 FAX：03-6868-3638  
メールアドレス：harukaze@logos.or.jp  
ホームページ：https://logos.or.jp